



2020年8月4日

各 位

会 社 名 ペプチドリーム株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 リード・パトリック  
(コード番号：4587 東証第一部)  
問い合わせ先 IR 広報部長 岩 田 俊 幸  
電 話 番 号 ( 0 4 4 ) 2 2 3 - 6 6 1 2

## RayzeBio 社とのペプチド放射性医薬品に関する 戦略的共同研究開発契約締結のお知らせ

当社は、以下のとおり、米国・サンディエゴ市に本拠を置くRayzeBio Inc.，(以下 RayzeBio社)との間で、ペプチド-放射性核種 (Radioisotope) 薬物複合体 (以下 「ペプチド放射性医薬品」) の創製に関する戦略的共同研究開発契約を締結しましたので、お知らせいたします。

### 1. 契約の内容等

本契約に基づき当社は、両社で選定した標的分子に対し、当社独自の創薬開発プラットフォームシステム：PDPS (Peptide Discovery Platform System) を用いて、複数のプログラムでペプチド薬物複合体 (Peptide Drug Conjugate、以下 PDC) として使用する新たなペプチドの同定及び最適化を行います。RayzeBio社は、それらペプチドを用いたペプチド放射性医薬品に関する全世界での開発及び商業化の独占的な権利を有します。当社は非臨床段階までの研究開発を主導し、RayzeBio社はその後の臨床開発および商業化を主導いたします。

本契約の締結に伴い、当社は RayzeBio 社から契約一時金として RayzeBio 社の一部株式を受領いたします。また今後、開発および商業化の進捗に合わせてマイルストーンや、製品化後は売上金額に応じたロイヤルティーが当社に支払われます。なお、契約一時金等の金額については、RayzeBio 社との契約により非開示とさせていただきます。

がん治療分野において放射性医薬品の高い抗腫瘍効果への関心が高まっております。当該領域において当社は、2018年に日本メジフィジックス社との間で戦略的共同研究開発契約、2019年にはスイス・ノバルティス社との間でペプチドに放射性核種を結合させるペプチド-薬物複合体の共同研究開発契約を締結しております。今回のRayzeBio社との戦略的共同研究開発契約の締結は、当社が戦略的に取り組みを進めているペプチド放射性医薬品分野において、リーディングカンパニーとしての当社の優位性をさらに強化するものと考えております。

## 2. 契約相手先の概要

(1) 名	称	RayzeBio Inc.	
(2) 所	在	地	
		9880 Campus Point Dr, Suite 410, San Diego, CA 92121 USA	
(3) 代	表	者	の
		役	職
		・	氏
		名	
		Ken Song (President & CEO)	
(4) 事	業	内	
		容	
		放射性医薬品の研究開発に特化したバイオ医薬品会社	
(5) 設	立	年	
		月	
		日	
		2020年1月	
(6)	上場会社と当該会社との間の関係	資	本
		関	係
		該当事項はありません。	
		人	的
		関	係
		該当事項はありません。	
		取	引
		関	係
		該当事項はありません。	
		関	連
		当	事
		者	へ
		の	該
		当	状
		況	
		該当事項はありません。	
(7)	当	該	
		会	
		社	
		の	
		最	
		近	
		3	
		年	
		間	
		の	
		経	
		営	
		成	
		績	
		及	
		び	
		財	
		政	
		状	
		態	
		RayzeBio社は2020年1月に設立されたため、過年度の決算書はありません。	

## 3. 日程

(1) 社	内	決	裁	日	2020年8月4日
(2) 事	業	開	始	日	2020年8月4日 (予定)

## 4. 今後の見通し

今回の契約締結につきましては、2020年2月13日に発表いたしました2020年12月期の業績予想への影響は軽微です。業績予想に変更が生じる場合には、速やかに開示いたします。

以 上